

AT&Tハイブリッド木造倉庫の受注強化

初のCAD/CAM対応で効率化

坂詰製材所



坂詰 会長

坂詰製材所(新潟県阿賀野市、坂詰一年会長)は、AT&Tハイブリッド構法による木造倉庫の受注を強化していく。同社ではAT&Tハイブリッド構法に対応したネットイールのCADに加工機のCAMが対応できる自動化ラインを導入し、自社県産材流通センターとホームセンターの2物件の加工を実施。今期12棟の受注を目指している。

同社は山林経営から1971年12月にAT&Tハイブリッド構法を知り、自社で製材する杉乾燥材を使用し、中規模木造へ導入することを決めた。大倉義憲AT&T社長から「ムク材でも使える」との言葉を受け、

自社の倉庫、運送会社の車庫、県産材流通促進センターなどの物件を手掛けてきた。3物件を施工したことでコスト面でも見極めがつき、実行予算を提示できる体制になった。

さらに鋼材が値上がりし納期が長期化するなか、S造で建設していたホームセンターからの引き合いがAT&Tにあった。坂詰製材所では、1棟が埼玉県内で完成。2棟目が福島県いわき市で5月に上棟する。

AT&Tでは、AT&Tハイブリッド構法で使用する接合金物についても、専用の「あたり面積」が大きく、スリット部の切り欠きがないものを開発。トラスに掛かる圧縮力を効率良く伝達でき、スリットの隙間で結露しにくい製品を開発した。AT&Tにはホームセンター本部のほかにも、鋼材不足や納期遅延などの問題もあり、引き合いが増えている。AT&Tでは、同社経由での紹介案件については、

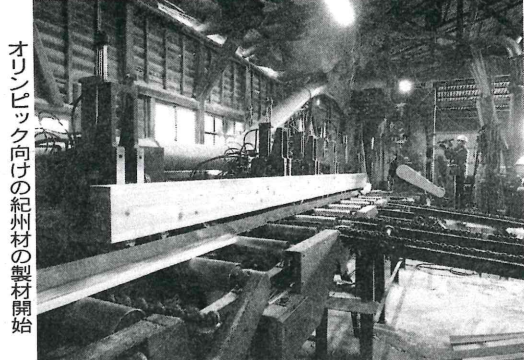
古材再生加工

- 床柱・床の間
- 神棚・梁・大黒柱

(株)もくもくサンワ

千葉県浦安市千鳥13
(東京中央木材市場内 担当:長谷)

TEL 047-355-2111
FAX 047-355-2316



オンライン向けの紀州材の製材開始

2020年の東京オリンピック・パラリンピック関連施設である選手村ビルディングラザの建設に紀州材が使われる。和歌山県の委託を受け、和歌山県木材協同組合連合会(榎本長治会長)と住友林業ほかが連携し2月28日から製材を始めた。

今回、「日本の木材」を作る選手村ビルディングラザとして全国63の自治体が木材を持ち寄り、選手村の代表的施設が作られる。オンラインピックの趣旨に則り、持続可能な認証林から伐り出された木材が扱われ、近畿では和歌山県が唯一参加している。

同県日高町にあるS G E C 認証林の山主は住友林業。住友林業が伐採し、西牟婁森林組合が丸太の仕上げを行っている。丸太は樹齢50〜60年生の杉・桧470本(約80立方メートル)。製材加工はJAS認定工場の新栄木材(上富田町)、かつら木材商店(すさみ町)の3社が担当する。主に柱、梁、床材に約23立方メートルを使うことになる。

AT&Tでは、AT&Tハイブリッド構法で使用する接合金物についても、専用の「あたり面積」が大きく、スリット部の切り欠きがないものを開発。トラスに掛かる圧縮力を効率良く伝達でき、スリットの隙間で結露しにくい製品を開発した。AT&Tにはホームセンター本部のほかにも、鋼材不足や納期遅延などの問題もあり、引き合いが増えている。AT&Tでは、同社経由での紹介案件については、

め、製材、人工乾燥後4月まで養生する。プレカットは和歌山市内のプレカット工場5社を予定している。東京への配送は8月になる計画だ。

選手村ビルディングラザは、木造・平屋建て6000平方メートルを計画。選手団の入村式の舞台として、メディアを通じて世界の人々の目に触れる選手村のエンターテインメント施設だ。式典・メディアスペースや生花店・雑貨店等の店舗、カフェなどが配置され、大会期間中は選手団やメディア関係者が日常的に訪れる場になる。

バイオマス発電事業計画進む
フォレストエナジー
山形新居市で
木質バイオマス発電事業の資金調達について、紀陽銀行などとプロジェクトファイナンスによるシンジケートローン契約を結んだ。プラントは2020年12月の稼働を目指す。

プラントの出力規模は電気約1800kW、熱約3800kW。年間発電量は1428万kWh(一般家庭3900世帯の年間使用電力量に相当)を想定する。

今後、トラス以外の部分も専用金物の使用を求めていくことになっている。

同社は1957年5月創業、79年5月法人改組。地元の建設会社や大工・工務店を得意先として、各種造作材の加工・販売を手掛けるほか、水産加工業者向けにかまぼこ板の製造も行っていた。近年は市況の冷え込みから愛媛県西予市にプレカット工場を建設したことで、2008年4月期には4億円前後の年商を上げていた。

しかし、09年11月に得意先の破たん売り上げが大幅に減少し、12年1月にはプレカット工場を閉鎖。経営改善に努めていたが18年4月期の年商は1億200万円前後にとどまった。18年末に代表者が死去し、後継者不在で事業を継続できず、19年1月4日には決済難を起こしていた。

同社は1957年5月創業、79年5月法人改組。地元の建設会社や大工・工務店を得意先として、各種造作材の加工・販売を手掛けるほか、水産加工業者向けにかまぼこ板の製造も行っていた。近年は市況の冷え込みから愛媛県西予市にプレカット工場を建設したことで、2008年4月期には4億円前後の年商を上げていた。

同社は1957年5月創業、79年5月法人改組。地元の建設会社や大工・工務店を得意先として、各種造作材の加工・販売を手掛けるほか、水産加工業者向けにかまぼこ板の製造も行っていた。近年は市況の冷え込みから愛媛県西予市にプレカット工場を建設したことで、2008年4月期には4億円前後の年商を上げていた。

同社は1957年5月創業、79年5月法人改組。地元の建設会社や大工・工務店を得意先として、各種造作材の加工・販売を手掛けるほか、水産加工業者向けにかまぼこ板の製造も行っていた。近年は市況の冷え込みから愛媛県西予市にプレカット工場を建設したことで、2008年4月期には4億円前後の年商を上げていた。

フヨウプレカット

検索